

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2026 年 1 月 23 日作成 第 4.0 版

研究課題名	乾癬患者におけるサルコペニア肥満の影響についての検討
研究の対象	当院皮膚科に通院中で、乾癬と診断されている方のうち、腹部～骨盤を含む CT 検査を施行した方を対象とします。また、対照群として、腹部～骨盤を含む CT 検査を施行した成人の日本人の方を対象とします。CT 撮影期間は 2010 年 1 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日までの間です。さらに、健常対照群として、過去に横浜市立大学先端医科学研究センター バイオバンクに検体提供をされ、研究利用に同意しオプトアウト手続きにより利用が認められている方を対象とします。
研究の目的	乾癬は、慢性に経過する皮膚の炎症性疾患で皮膚の他にも関節などを侵すことがあります。心疾患、糖尿病、メタボリックシンドローム、肥満など、様々な全身疾患との関連が知られています。特に肥満は乾癬との関わりが深いといわれており、肥満は乾癬の悪化因子でもあり、肥満であることが乾癬の発症リスクを上げるという双方向の関係があります。肥満度を表す指標として body mass index(以下 BMI)がよく使用されています。高齢になると BMI は低下する傾向にありますが、筋肉量の低下も関連しているといわれています。骨格筋量減少と肥満を同時に有する状態をサルコペニア肥満といい、糖尿病や脂質異常症、メタボリックシンドロームのリスクが高いことが指摘されています。乾癬の患者さんの中にも、高齢になり BMI が低下しているにも関わらず乾癬の病勢が中々改善しない方がおり、その中にサルコペニア肥満の様な病態を有する方がいる可能性を考えました。今回我々は乾癬患者さんの筋肉量、脂肪量等を測定し、対照群と比較し乾癬の病気の勢い、治療効果への影響について検討します。 さらに、健常群と比較して、乾癬患者における血中バイオマーカーの変化を解析するとともに、これらのバイオマーカーと筋肉量・脂肪量との関連について評価を行います。
研究の方法	診療録、画像検査から情報を収集して、筋肉量、脂肪量と乾癬の重症度や治療内容を検討します。また、過去に同意を得て保存されている血液、病理検体を用いて乾癬やサルコペニアと関連のあるバイオマーカーを測定し、臨床的な有用性を検討します。 さらに、バイオバンクに保存されている健常対照者さんの血液検体を用いて同様にバイオマーカーを測定し乾癬患者さんとの比較を行います。 いずれも通常の診療で得られた試料・情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2023 年 12 月 20 日（実施機関の長の許可日）～ 西暦 2030 年 3 月 31 日 情報の利用又は提供を開始する予定日：西暦 2023 年 12 月 20 日（実施機関の長の許可日）

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

研究に用いる 試料・情報の 項目	<p>【試料】以下の検体を用います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市立大学先端医科学研究センターバイオバンクで保存されている健常対照血清 診療で採血された際の残余検体 診断時に採取された組織の残余検体 <p>【情報】診療録から以下の情報を収集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 背景情報：診断、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症等 血液検査の結果：炎症反応、肝機能、腎機能等 画像検査：CT、レントゲン、MRI（レントゲン、MRI は乾癬の方のみ）等 治療内容：薬および治療歴等
試料・情報の 授受	<p>本研究では、外部機関との試料・情報の授受はありません。</p> <p>一方で、横浜市立大学附属病院バイオバンク室から既存試料の提供を受けるため、提供に関する記録は、バイオバンク室の規程・手順に従い適切に作成・保管いたします。</p>
個人情報の管 理	<p>情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるように管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。</p> <p>また、バイオバンクから提供される試料・情報については、提供時点ですでに個人を特定できない形に加工された状態であり、本研究側で個人を特定することはできません。</p>
試料・情報の 管理について 責任を有する 者	<p>当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。</p> <p>研究責任者：横浜市立大学附属病院 皮膚科 山口由衣</p>
利益相反	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。</p> <p>本研究は資金を要しない研究です。資金が必要となった際は、基礎研究費を使用して行う予定です。開示すべき利益相反はありません。</p>
研究組織 (利用する者 の範囲)	<p>【研究機関と研究責任者】</p> <p>横浜市立大学附属病院 皮膚科 山口由衣</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 皮膚科 （研究責任者）山口 由衣

（問い合わせ担当者）中尾 恵美

電話番号：045-787-2800（代表）